



Bチームはフィールドワークを工夫したよ

Better

B チームは、テーマがヘルスケアということで“より良いという意味の”Better”をチーム名にしました。

私たちは高齢者を対象にしたヘルスケアに関するアプリケーションをデザインし、社会保険料問題などの改善をゴールとして活動しています。

国内合宿では高齢者を対象とし、健康に関する意識を道行く人にインタビューしました。そのほかにも、チームメンバーの食生活や睡眠時間、歩数など自分たちも健康を意識した生活を送りました。

初日

初日は各々授業を乗り越えた後、18時10分頃に全員集合しました。授業後ということで、みんな疲れた顔をしていましたがフィールドワークに向けた調整や、予定の確認、物品づくりなどを行いました。一日目から解散したのは約22時というハードスケジュールでしたが、夜はチームで平均6時間ほどの若干健康的な睡眠時間を取り、次の日のインタビューにむけてコンディションを整えました。

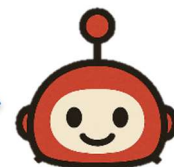
二日目

二日目は、前日の夜に行った作業の確認や意識のすり合わせ、プレインタビューなどを行い、二日目のメインであるフィールドワークへと行きました。

FWはメンズチームとレディースチームで二手に分かれて健康に関する意識のインタビューを行いました。目標は一時間で20人の人にインタビューでしたが、結果は約一時間で28人分のデータを集めることができました。健康を意識していないという方は1人しかおらず、対象を高齢の方にしたのもあると思いますが、驚きの結果となりました。さまざまな視点の意見を得ることができたため、これをもとにプレゼン制作、シンガポールでのインタビュー内容などを考えていこうと思います。

FW終了後はプレゼン制作、発表練習に時間を費やしました。

メンバーのみんな
ガンバレ！



三日目

2日間の集大成を披露するプレゼンテーションの日、なんとリーダーが仕事で不在。そんな中メンバーは朝から約2時間半最後の追い詰めに励みました。お昼休憩の間も通したり修正したり。

発表後、多くの課題を他のチームからの疑問点として上げていただきました。またより多くのチーム内での話し合いや意識のすり合わせをする必要が見えてきました。これらを踏まえてさらに改善していきたいと思います。

